ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成25年 No.256 6月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

有権者アベノミクスをどう評価するか
参院選7月4日公示、21日投開票

高支持率の安倍内閣

今通常国会も6月26日に閉会となり、参議院通常選挙に入る。選挙は7月4日公示、21日投開票はほぼ確定である。来るべき参議院選挙の前哨戦と位置づけされる東京都議会選挙が14日に告示され、さながらミニ国政選挙の様相である。選挙の結果が、来るべき参議院選挙に連動すると言われるだけに、各党も力が入っている。安倍総裁は8・9の両日、都内14箇所で街頭演説をした。かっての安倍総理とは見違えるほどの健康振りである。それだけに参議院選挙に賭ける意気込みがいかに強いかが、想像できる。現在のところ、マスコミ各社の内閣支持率は70％前後、政党支持率でも自民党は45％代を維持し、順調に推移している。だが、選挙までまだ1カ月ある。どう情勢が変化するか分らないが、余程の事が起こらない限り、自民党の優勢は変わらないだろう。

都議選候補者への応援初遊説(第1会場・墨田区曳舟)

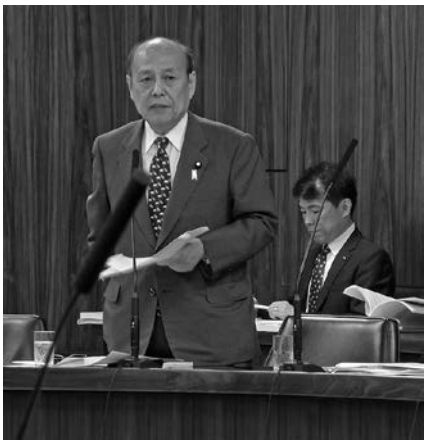
恒心

★橋下知事在任中の功績は何であったのか思いだせない。市長に就任、大阪交通局の民営化、大阪府と大阪市の水道事業の統合は議会で否決され、大阪都構想などは頓挫したままである。体罰によって生徒が自殺した大阪市立桜の宮高校の体育系学科の入試を中止したぐらいが、実績ではないか。★自治体のトップとしての手腕よりも、演説上手の人気先行で、昨年末の衆議院選挙での維新の躍進に大きな役割を果たした。橋下氏の人気は当時が頂点であり、維新への支持率も高かった。国会議員になりたい人は、草木がなびくように維新へいった。★参議院選挙でも相当な議席を獲得すると思われた矢先、従軍慰安婦問題の発言によって、橋下氏、維新の人気はがた減りである。奢(おご)れるもの久しからずである。今や足元の大阪市会の維新会派が大揺れの状態で、脱会者が相次ぐのではないかと言われている。★口は禍のもととは良く言ったものである。窮地に追い込まれた橋下氏は、失地回復とばかり、批判の矛先を変えるつもりか、今度は米軍のオスプレイの訓練基地に大阪八尾空港を使用してはと安倍首相に持ちかけた。住宅が建て込んだ八尾空港など、普天間以上に条件が悪い。★迷惑だったのは、安倍首相である。突飛で、実現ゼロとは思っていても、彼は日本維新の会と言う公党の共同代表である。無下に断るわけにはいかない。一応防衛省に検討させると答えるしかなかったが、最低でも県外と言った鳩山元首相以下の発言である。★寝耳に水の八尾市長、自分の意向を聞く前に、頭ごなしに首相に提案され、即座に断った。日米同盟、国の安全保障にかかわる問題を思い付き、出まかせで言ってもらっては困る。橋下氏の賞味期限もそろそろ切れて来たのではないか。

総務委員会

25年5月16日

今国会に上程された地方分権一括法に関する問題について二ノ湯議員は自民党を代表して質問した。昨今地方分権が進み、法律にもとづいて条例を制定する権限を持つ地方議会の役割は益々大きくなり、そして重要となってくる。議会を構成する議員の政策立案能力を高めることは勿論のこと、優秀な人材を議会に呼び込むための環境づくりも必要である。議会を取り巻く諸問題について大臣の見解を質した。



○二之湯智君

地方分権一括法によって地方が条例を制定する。二元代表制の一方として条例制定権を持つ地方議会の役割の大きさを改めて感じます。私は、日本の自治体は二元代表制という制度を取っておりますが、今日の地方議会、私も地方議会出身ですが、今の日本の地方制度が真の意味の二元代表制度になっているかどうかお伺いいたします。

○国務大臣（新藤義孝君）

二元代表制の下で地方の議会と理事者が自治体を運営をするわけです。しかし、これには不断の改革が必要であろうと、特に地方議会における政策立案能力の向上というものが重要だと思います。法律制定権がございませんが、しかし、市民の声を受けて議会が行政と時には対峙しつつ連携を取るということが重要ではないかと思います。

○二之湯智君

私は、国と地方との関係においては、地方六団体はしっかりとスクラムを組むべきだと思います。しかし、それぞれの自治体においては首長と地方議会は良い意味の緊張関係を持ってやっていくべきだと思っています。京都市会議員時代に、地方にとって最も重要な基本計画を議決事項にすることができました。これは理事者が嫌がりますが、議決事項として加えることができました。地方議会と理事者の力関係からすると、地方議会の権能強化というのは非常に難しいが、大臣はどう思われますか。

○国務大臣（新藤義孝君）

それは、さすが二之湯先生、すばらしいお仕事をされたんだと思います。確かに、力関係からいうと非常に厳しいものがあります。国会の場合はもう専任で政治活動を行いますが、地方議員の場合は、自ら職を持ち、いろんな活動をしながら住民の代表としての議員活動をなされているわけでありまして、時間的な問題もあると思います。ですから、先ほど申しましたけれども、いかに地方議会、そして議員のそれぞれの政策立案能力を高めていくかということが課題だと思います。

○二之湯智君

地方議会の議長は議会事務局職員の任命権者なんですね。ところが、都道府県も政令指定都市も議長に就任する際に、あの局長はできるから事務局長にもらいたいと言っても、市長部局、知事部局の人事の中にこの事務局長が組み込まれて、議長の思うとおりにいかない。秘書1人でも、任命権者でありながら議長が望む秘書を実現できない。地方議会では、法律では任命権者になっているけれども、議長の権限というのはほとんどないというのが実態なんです、今本当に地方議会は大変なんです。そこで、地方議会に優秀な人を導入しようと思っても、今の地方議会の議員の処遇では、若い優秀な人に会社を辞めて議会議員の選挙に出てくれと、言えないですね。地方議会議員の年金がなくなってもう2、3年たちます。大問題ですよ。私も今無年金ですがね。私が雇っている私設秘書でもちゃんと年金付けてあるわけですよ。雇っている本人が無年金で、雇われている人が年金付いているというのは、全く矛盾しているんですね。大臣、地方議会議員の年金制度についてどのように思われますか。

○国務大臣（新藤義孝君）

今のような、まさにやっぱり現場を御承知の、またいろんな経験をされている先生からの御意見というのは貴重だと思います。また、そういう意見をどんどんと出していきながら、これは地方議会の制度の問題でありますから、まず地方の中でしっかりとした議論が必要だと思いますし、国としても、国会議員の年金もなくしました。地方議員の年金もなくしました。こういった問題について、これはもう議員の身分、また根幹にかかわることでありますから、是非それぞれの政党における活発な議論というのが重要ではないかと。その際には二之湯先生がリーダーシップを取っていただくことが重要ではないかなと期待をしております。

○二之湯智君

パートの従業員でも厚生年金に加入させようという動きの中で、国会議員、あるいは地方議会議員として一生懸命全体の奉仕者として頑張っている人が非常に身分が不安定だということではいけないと思います。同僚の若い議員に結婚しているのかと尋ねたら、自分が国会議員に出たいと言った時に、奥さんが3人のかわいい子供を連れて実家に逃げて帰ったと言っていました。こういうような悲劇があるわけなんです。議員は非常に不安定な職業だ、こんな人と一緒にいては人

生が台なしだと思ったのですね。だから、身分の保障について真剣に考えていただきたい。地方議会の機能強化については、もちろん地方議員が考えることが第一ですが、総務省も地方議会の機能強化のために、十分に考えていただきたいと要望して終わります。

参議院決算委員会
23年度決算、審査出来ず閉会

予算委員会と違って、決算委員会は国の予算の支出及び予備費を審査する委員会である。決算はすでに為された収入支出の計数なので、予算や法律と違って、国会の議決で成立するものではない。参議院は独自性を高めるために多くの改革を行ってきたが、その一つが決算審議の重視である。決算の審査が翌年度の予算編成に反映されるよう、決算提出の翌年常会(通常国会)中に議了するよう努めるものとされてきた。自民党政権時代は順調に決算審査が行われていた。民主党政権になってから、毎年総理が交代して国政を停滞させたことや、参議院で閣僚の問責決議が多数可決されたことなど、政治の混乱によって決算審査が遅れた。そのため平成22年度決算が5月22日にようやく議決された。これでは決算重視の参議院の看板が泣く。二ノ湯議員は平成23年10月から決算委員に就任、現在は決算委員会の筆頭理事を務めているが、23年度の委員会は1度も開かれず、通常国会が終わってしまうことになりそうな様子である。

決算委員会で22年度決算の賛成討論を読み上げる二ノ湯議員

200回突破記念
日亜協会 第201回例会
一般公開講演会
ご案内

日本が抱えている
北方領土・尖閣・竹島などの
領土問題に
歴史的視点から考察を加え、
日本外交のあり方を
厳しく問いなおす
問題提起の講演です。
一般市民の参加を歓迎致します。

日　時：**平成25年7月5日(金)** 14：00～17：00
会　場：**京都産業大学**「むすびわざ館」三階B教室 電話075-277-1600
最寄り駅：JR「丹波口」
会　費：**千円**

〈演題〉
領土・歴史問題と日本外交

〈講師〉
東郷　和彦
(京都産業大学教授・世界問題研究所長)

自民党府連総決起大会
千人が参加、参院選の圧勝を誓う

来るべき参議院選挙で自民党公認候補の必勝を目指す総決起大会が6月15日、シルクホールで府下各地より千人が参加して行われた。京都府においては過去3回、参議院選で自民党は民主党の後塵を拝している。今回は自民党が政権を奪還して最初の国政選挙であり、絶対に民主党に負けられない選挙である。候補予定者の西田昌司氏は昨年後半から府内各地を回って支援の輪を広げ、すでに府下を1巡している。大会には伊吹衆議院議長、谷垣法務大臣、二ノ湯府連会長はじめ京都府選出の衆議院議員が全員出席、熱気あふれる決起大会となった。西田氏は「アベノミクスを実現し、日本の経済を再生しなければならない。中国の覇権(はけん)主義で、日本は国難に直面している。議席を獲得し、国の安全保障をしっかり考えたい」と決意を語った。

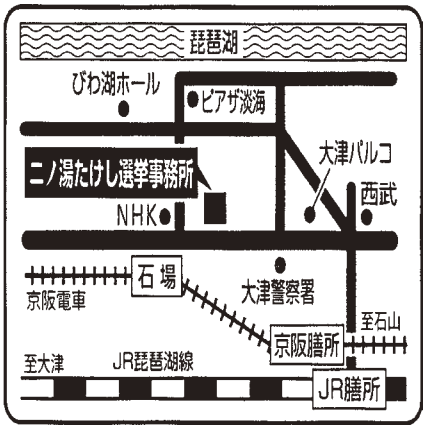
自らの信念を訴える西田参議院議員

二ノ湯たけし事務所開き
300人が集い、必勝を誓う

参議院滋賀県選挙区から自民党公認として立候補予定の「二ノ湯たけし」の事務所開きが、公明党滋賀県代表、衆議院議員をはじめ関係者が多数出席して行われた。神事を執り行った後、辻村県連会長、衆議院議員が是が非でも議席奪還をと参加者に訴えた。二ノ湯たけし予定候補者は「この選挙戦を勝ち抜き、12年ぶりに滋賀県で議席奪還を果たし、参議院のねじれを解消したい」と決意表明した。事務所は、近くにNHK、大津パルコがあり、大津市の1等地である。

参加者の前で必勝を誓う二ノ湯たけし

二ノ湯たけし選挙事務所



(京阪石場駅前・NHK前交差点東へすぐ)
TEL.077(526)5133

'13 夏まつりのご案内

参議院議員 二ノ湯さとし　京都府議会議員 二ノ湯しんじ　後援会合同夏祭り

ご家族やお友達とご一緒に、懐かしい夏祭りの雰囲気を満喫しにおいでください。

日時　8月1日(木) 16:00▶21:00
16:00から20:30まで自由に入場できます。
ごあいさつ
【第1回目】17:30　【第2回目】19:00

場所　ホテルグランヴィア京都（JR京都駅ビル内）
お食事……3F宴会場　イベント……5F宴会場

お一人様 5,000円

お問い合わせ：二ノ湯さとし京都事務所
お申し込み先：TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

京都府議会議長に多賀氏
地方の自主、自立の確立に期待

5月24日、京都府議会は多賀久雄氏(62)を第77代議長に選出した。多賀氏は平成10年に宮津市及び与謝郡選挙区から補欠選挙で初当選、現在5期目である。多賀氏は京大を卒業後、宮津市役所に奉職、企画経済部長を最後に、政界に転出した。地方自治に精通、政策にも強く、性格は温厚、穏やかな人柄で人望も篤い。平成21～23年の2年間、府連幹事長も務めたベテラン議員である。厳しい財政状況にある地方自治体、しかも、府政は多くの課題を抱えている。二元代表制の一翼である府議会の責任と役割は非常に重要となってきている。多賀議長に期待するところは大きいものがある。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

― お問い合わせ先 ―
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

身辺雑記

一、若いときは健康など全く意識せず、健康が当たり前と思っていたが、友人などが病に倒れると自分の健康が気に掛かる。今年も人間ドッグでの検診は特に悪い所がなく、一安心である。平均寿命より健康寿命が大事である。

一、米中首脳会談がアメリカ・カルフォルニア州で行われた。2日間に亘り、計8時間の長い話し合いであった。大国と自負する中国の新しい指導者とアメリカ大統領が、顔を合わせ、色々と意見を交わすことは世界にとっていいことだ。

一、命の水というように水は人間が生きるために絶対不可欠のものである。日本は国土の大半が森林であり、雨が良く降り、水に恵まれている。中国は今や大地が汚染され、飲料水の95％は飲めない状態だそうである。

一、一方、梅雨と言うのに西日本はほとんど雨に恵まれない。ゲリラ豪雨はご免蒙りたいが、やはり適当な雨は絶対に必要である。この気候が続くと今年の夏はひょっとすると、節電、節水の夏になるかも知れない。

一、この季節は果物の少ない時期である。それでも食品店を覗くと多くの果物が並んでいる。スイカ、枇杷、デコポンが私の好物である。季節物を食べていると健康にも良い。日本人に生れてきて本当に良かったとつくづく思う。

一、厚生労働省の次官に村木厚子さんが就任した。平成21年、厚労省の局長在任中に、大阪地検によって、郵便不正事件で逮捕された。当初から冤罪だと言われていたが、翌年無罪となった。正に地獄から天国である。活躍を期待したい。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」 第32回・第33回例会のお知らせ

※平成25年6月24日(月)は休会となりました。

平成25年7月29日(月)　18時～20時

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
TEL：050-7544-4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　岡本幸治